

〈研究目的〉

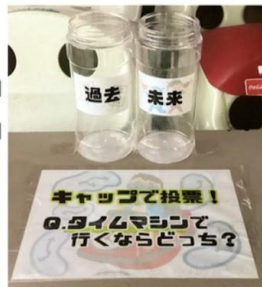
ペットボトル本体とキャップとの分別率を上げる

〈仮説〉

キャップで投票できるゴミ箱があれば、普通のゴミ箱より分別したくなる

〈設置した仕掛け〉

透明な容器が2つあり、「犬派か猫派か」「タイムマシンで行くなら過去か未来か」という質問にそれぞれキャップで投票できる仕掛け



〈実験内容〉

- 1.キャップ用の通常のゴミ箱をペットボトル用ゴミ箱の横に2日間設置する
- 2.分別率を上げる仕掛けを同様に設置する
- 3.1と2で、本体とキャップの分別率を比較する



〈実験結果〉

- ・回収できたペットボトル数
通常のゴミ箱→38本 仕掛け→71本
※仕掛けを設置した2日間で、災害用備蓄水が25本ほど消費されたので、通常のゴミ箱を設置した2日間より回収数が増えた
 - ・キャップの分別率
通常のゴミ箱→37% 仕掛け→52%
→分別率 **約15% up**
 - ・仕掛けを設置した場合には、ペットボトルキャップの他に、缶のプルタブや小銭もキャップと同数程度入れられていた
- ## 〈考察・反省点〉
- ・仕掛けにはペットボトルキャップ以外のものも入れられていたことから、仕掛けには「何かものを入れたくなる」効果があることがわかった
 - ・ペットボトル本体とキャップの分別率を上げることを目的とした仕掛けであるので、キャップ以外のものは入れられないような工夫が必要だと感じた
 - ・「仕掛けに気づかなかった」という意見もあったので、視覚的に注目を集める工夫があればさらに効果的な仕掛けになると考えられる